

てんてん新聞

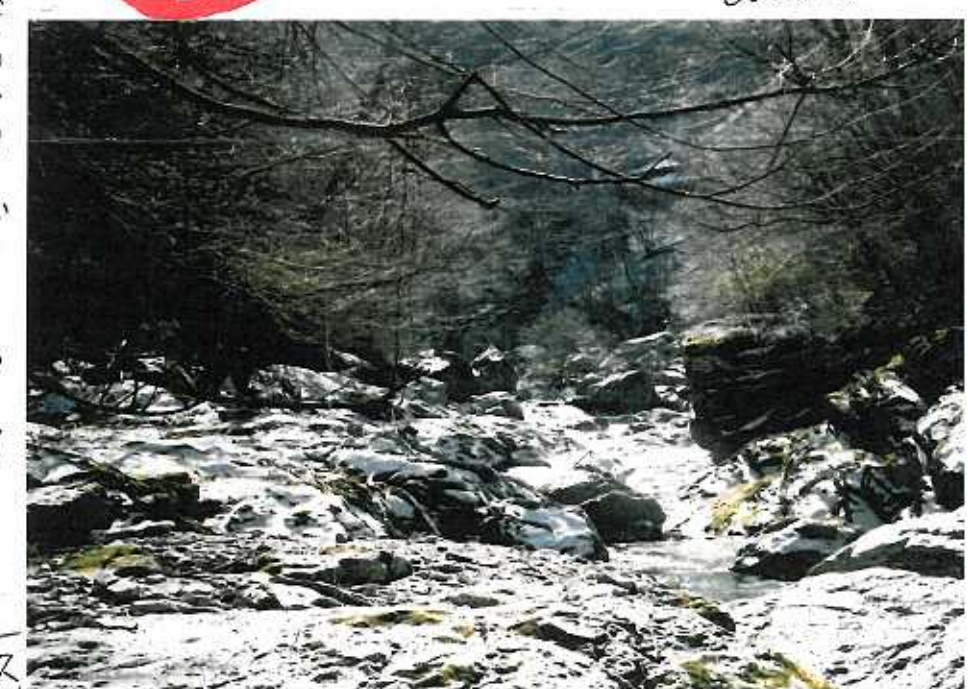
10.3.No.154
発行 市岡 咄
発責 0883-88-5292

南の方から桜の便りが聞こえはじめさうの暖かい日が続いたり、木の芽おこしの雨が降ったりと、一気に春めいて来ました。あつという間に三月になつてしまいました。オリンピックに熱申したというこゝとでもありませんが、気がつけば三月です。二月、三月はなぜか研修とか視察とかが多くありませんか、どうしてこのひんごしよう。時々多分、様々な事業の一年の区切りの期とばかり、予算の使い方が頭を悩ましてくるのはとおもいます。縦割り行政だと、予算の使いえを他に使えないので、視察や研修が多くなるのははいびいごしようか。

あつという間に

3月びび

別に悪い事でもないのでごしようが、お金がないうちと云う社会になつていとも、やそ事ばせんまに、変処してはいないのでと感じます。ただ、そういう状況を積み重ねると地域がえん気になつたり、生活は化は難しいとおもいます。何よりも重要なのは、住民と行政と共に意識を変えなければ、好い状況を作り出す事は大変難しいといえます。お金を使うははじめれば、お金がなくなると終るのです。東祖谷の中にも多くの事例を見う、とかが出果ます。一つの事業が終れば、次の事業を見つけたら、そうするとお金の出る所を見つけたら、その、予算がある期間にだけ、事業が新たにはじめるのです。いつまでか、予算がある期間にだけ、元気がな地城とどこが違つたのをごしようか、多分、お金の使いえです。オリンピックだつて、もくかしたらさうなのかと知れませんか。



×タル ×タルと言つていれど、×タルを獲れる状況の選手が育成をしてくるのだから、あつあ、またぐちつてしまいました。さういえば、二月にはちまつとした山歩きをしてみました。祖谷の昔にある仕事道です。×木馬道です。山奥から大木を切つて出す為につつた道。今、歩いて見ると、あつちこち、多々の人達の知恵と技術が伝わつてくる、とに出逢います。切り立つた岩場に、見事な石垣を積みあげた道にしてある所が各所にある。これこそ地域遺産ではないごしようか。こんな所を案内できるコースを設定すれば、おんと面白、楽しいコースになるのではいごうつかと、ご一緒した二人と話しながら歩いた。この辺で、祖谷の水を使ったフーヒーなんか飲めたなら、なんと、面白いアイデアも浮かぶ。岩川で食べた、フキノトウ入りのうどんの味は、いさかつた事、日頃のモヤモヤもその時にはスッキリしこいた。その他にも、東葉か産落への道と、いいコースと、いごしよう。

にだ、どれと勝手に、歩きまわられると、山は、おれいごしよう。残念ながら、だから、がど付きご、いごしよう。コースに、いごしよう。せんご、いごしよう。

